

算命学中庸

【初年】 5 4 回目

5 4 回目の授業はこのページからです。

授業科目 【大運法】 ②

【初年】 5 4 回目【大運法②】 01

□ 大運法 ② (たいうんほう)

大運には『じゅんこう順行』『ぎゃっこう逆行』という学問的な言葉があります。
普通は『大運はじゅん順まわり』『大運はぎやく逆まわり』といいます。
つまり、大運の出し方は『順まわり』と『逆まわり』の2種類
あるのです。

そして……大運の出し方は、男性と女性で異なります

おなじ誕生日でも、大運の流れは男性と女性で異なるのです。

算命学は、男性と女性がおなじ誕生日であっても、男性と女性
では、大運の出し方は違う方向へ行くと考えています。

算命学は、男性と女性がおなじ誕生日であっても、男性と女性
では、大運の出し方は違う方向へ行くと考えています。

☞ 男性と女性の違いを説明します。

ここに「宿命」があるとします。

宿命そのものには、男性・女性の区別はないのです。

2019 年（令和 1 年） 2 月 4 日に生まれた赤児が 1,000 人いても、性別に関係なく、宿命は 1,000 人まったくおなじです。

男は陽の気をもっていて、女は陰の気をもっているのです。

それゆえに、男児には陽の気、女児には陰の気を加えないと、本当の宿命をだせないと考えています。

本当の宿命をだせなければ、本当の運勢を観ることはできないわけです。

どうということなのかといえども……、

男は陽の気をもっています。女は陰の気をもっています。

男児の宿命に「陽の気」、女児の宿命に「陰の気」を取り入れて宿命を観るということです。

そして、^{こよみ}暦を「気」のうえで考えると、「陽の気の年」あるいは「陰の気の年」がまわって来ます。

〔たとえば〕 2019 年（令和 1 年）干支は「己亥（きどのいすい）」です。この^{とし}年の干は「己土」^{きど}ですから^{いんかん}陰干です。つまり「陰の気」がまわっている^{とし}年になります。

2020 年（令和 2 年）干支は「庚子（こうきんのねすい）」です。

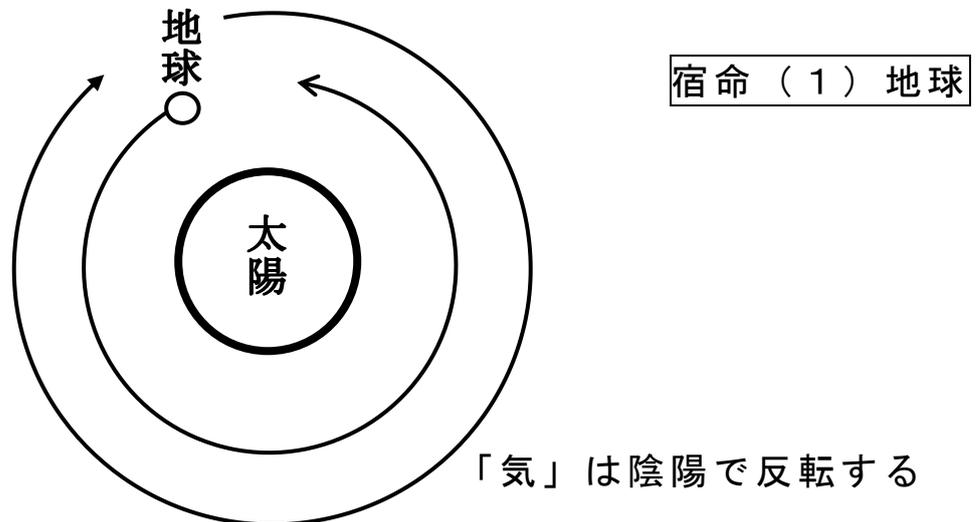
この年の干は「庚金」^{こうきん}ですから^{ようかん}陽干です。

つまり「陽の気」がまわっている^{とし}年になります。

このように、「気」のうえでは「陽の気の年」と「陰の気の年」があることになるのです。

そして、男の宿命に「陽の気」、女の宿命に「陰の気」を取り込むと、陽気と陰気では動きが違って来ると考えています。つまり、男性と女性では「気の動き」が異なるのです。

☞ 地球は太陽のまわりを公転（左回り）しています。



地球は太陽のまわりを回っていて、常に同一方向へ公転していますが、気のうえでは「陽の気の年」と「陰の気の年」があるとして、陽気ようきと陰気いんきでは、「気」が反対方向へ動く、つまり、陽と陰では“気は逆方向へ回る”と考えたわけです

そうしますと……、

2020年（令和2年）の干支は「庚子こうね」です。

つまり「庚金こうきんの子水ねすい」の年です。

干は「庚かん」で陽干こうですから、陽の気ようかんの年になります。

2021年（令和3年）の干支は「辛丑」です。

つまり「辛^{しん}金^{きん}の丑^{うし}土^ど」の年です。

干は「辛^{かん}」で陰干^{しん}ですから、陰の気^{いんかん}の年になります。

地球は太陽のまわりを回っていますが、「陰の気」になった年^{とし}には、地球そのものが逆に回ってくればよいわけですが、自然界はそうはいきません。

ゆえに「気」のうえでは（陽）と（陰）では、逆に回ると考えたわけですね。

☞ そうしますと、宿命の話があります。

男性と女性がいます。

「陽^{よう}気^きの年」は「男^{おとこ}の年」
「陰^{いん}気^きの年」は「女^{おんな}の年」 } このように考えたのです

ゆえに、女^{おんな}の年^{とし}（陰気^{いんき}の年）に女子（陰）が生まれたのであれば、気は一致するので、気は順当にまわるとしたのです。

女^{おんな}の年^{とし}（陰気^{いんき}の年）に男子（陽）が生まれたら、気は一致しないので、気は逆にまわるとしたのです。

「陰気^{いんき}の年（女性^{おんな}の年）」に、女子が生まれたら、気は一致するとして、気は順当にまわる。

反対に、「陰気^{いんき}の年（女性^{おんな}の年）」に 男子が生まれたら、気は逆まわりする。

参考資料《1》

大運「順行」「逆行」

『大運法②』

大運 ⇒ 「順行」「逆行」 の出し方

この表は算数の掛け算と同じです。

性別は、男性を陽と取って、女性を陰と取りました。

2014年の年干は「甲木」ですから、「年干」を「陽」とします。

2015年の年干は「乙木」ですから、「年干」を「陰」とします。

	性別	年干	まわり
A	男（＋）	陽	順行
B	男（＋）	陰	逆行
C	女（－）	陰	順行
D	女（－）	陽	逆行

A－性別が男（陽）で 年干が陽なら 陽と陽で大運は順行

B－性別が男（陽）で 年干が陰なら 陽と陰で大運は逆行

C－性別が女（陰）で 年干が陰なら 陰と陰で大運は順行

D－性別が女（陰）で 年干が陽なら 陰と陽で大運は逆行

参考資料《1》大運「順行」「逆行」の表は、覚えて頂きたいのです、算数の掛け算とおなじです。

A－性別が男（陽）で「年干が陽」なら 陽と陽で大運は順行します。

B－性別が男（陽）で「年干が陰」なら 陽と陰で大運は逆行します。

C－性別が女（陰）で「年干が陰」なら 陰と陰で大運は順行します。

D－性別が女（陰）で「年干が陽」なら 陰と陽で大運は逆行します。

性別は「男を陽」として、「女を陰」としました。

2019（令和1年）なら、干支は「己亥（きどのいすい）」ですから、年干の「己^き」を（陰）としてください。

2020（令和2年）の干支は「庚子（こうきんのねすい）」ですから、年干の「庚^{こう}」を（陽）としてください。

このときに、順当にまわるから、逆にまわるから〔良いとか〕〔悪いとか〕はありません。

もし……順当にまわる、あるいは、逆にまわるから〔良いとか〕〔悪いとか〕があるとすれば、その人物の宿命における大運の

めぐ^{めぐ}り^{かた}方にある。ということになりますね。

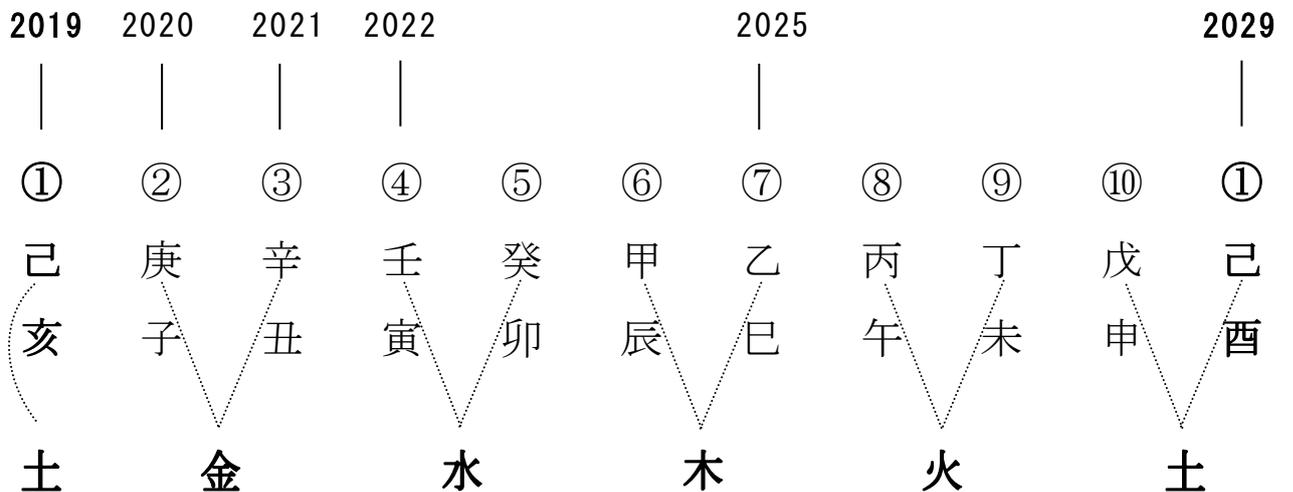
☞ 大運をだすには、先ず、A・B・C・Dのどれに相当するのかを、必ずださないといけません。

大運の幅についてですが、大運の1つの幅は10年単位です。「10年一昔」ということわざのように、10年を一区切りの単位と考えています。

♣ 大運の一つの期間は10年単位です。

2019年の干支は「己亥」です。

ちょうど10年足すと、10年後には、おなじ干「己^き」の年がやってきますから、五行の陰陽は循環します。



2019年は「己亥」です。そして毎年「干支」は移り変わっていきます。10年経つと一巡りして、再び「己」の年が来ます。

これは五行（木火土金水）の陰陽が一巡するからです。

「干支」はどこから始まってもおなじです。

10年経つと「十干の氣」が一周します。

10年^{けいか}経過すると「十干の気」が一周しますから、人間の運勢を10年単位と考えたわけです。

大運をだすと、必ず「十干の気」が一巡りしますから、自分の一生を10年単位で観て行きます。

大運の1つの単位は10年間ですが、その幅の区切りを「^{さいうん}歳運」といいます。

大運の1つの単位は10年間で、その幅の区切りを「歳運」という。

〔たとえば〕歳運が4^{よんさいうん}歳運と出たら、これに10年ずつ加えます。つまり(4歳) → (14歳) → (24歳) ……というようにです。

＊アスカ（宮崎重明）1958-2-24〔56歳〕の陰占・陽占・大運です。

1992「壬申」第6回ゴールド・ディスク大賞受賞したときに五柱法です。

大運干支			4歳運です			歳運			} 大運干支
壬	戊	壬 甲 戊				4	乙卯	}	
戊	申 午	申 寅 戊		車騎	天南	14	丙辰		
亥	戊	戊 戊 辛	龍高	鳳閣	車騎	24	丁巳		
	壬 己	壬 丙 丁	天貴	鳳閣	天胡	34	戊午		
	庚 丁	庚 甲 戊				44	己未		
						54	庚申		

占うときは、上記のように五柱法をだします。

彼は1992年〔56歳〕ですから、大運の干支は**庚申**です。

1992年の干支は「壬申」です。彼は1992年〔34歳〕でしたから、

34歳～44歳まで（10年間）の干支は**戊午**です。

歳運が **10歳運** とでたら、10年ずつ加えます。

〔10歳〕 つぎは〔20歳〕そして〔30歳〕というようにです。

＊ バラク・オバマ前大統領 1961-8-4 **10歳運**です。

	己	乙	辛		鳳閣星	天庫星	歳運 ↓ 10 甲午
戌	巳	未	丑	玉堂星	貫索星	貫索星	20 癸巳
亥	戊	丁	癸	天将星	車騎星	天南星	30 壬辰
	庚	乙	辛				40 辛卯
	丙	己	乙				50 庚寅
							60 己丑 大運干支

↓
戌亥天中殺

	庚	癸	甲		禄存星	天恍星	歳運 ↓ 6 甲戌
申	辰	酉	午	龍高星	石門星	玉堂星	16 乙亥
酉	乙			天印星	調舒星	天将星	26 丙子
	癸		己				36 丁丑
	戊	辛	丁				46 戊寅
							56 己卯
							66 庚辰 大運干支

↓
申酉天中殺

6歳運 とでたら、これに10年ずつ加えます。

〔6歳〕のつぎは〔16歳〕そのつぎは〔26歳〕というようになります。安部総理大臣は **6歳運** です。

⇒ ここからは「歳運の出し方」の勉強です。

「歳運の出し方」参考資料《1》～《7》を必要とします。
それらの資料は ⇒ 11頁『干支歴』～19頁に記載しました。

🔍 参考資料《2》～《7》は文字が小さいです。

大きく A4 (100%) でプリントするとよいですね。

👉 参考資料《1》大運「順行」「逆行」⇒ 05頁にも記載

参考資料《1》大運「順行」「逆行」

参考資料《2》「歳運の出し方」女性と男性

参考資料《3》「歳運の出し方」女性と男性

参考資料《4》「歳運の出し方」女性だけ

参考資料《5》「歳運の出し方」女性だけ

参考資料《6》「歳運の出し方」確認表 男性

参考資料《7》「歳運の出し方」確認表 女性

参考資料《8》「歳運」確認表は（練習用）です。

上下2つともおなじです。

上下の境で半分に切り分けて使用できます。

余分にコピーしてお使いになるとよいでしょう。

🔍『干支暦』 昭和59年(1984)「甲子」 です
 例題の男性と女性の生年月日は「昭和59年7月18」です。
 それゆえに、干支歴が必要なので下記しました。

昭和58年(1983) 癸亥			
月	節入日	節月干支	1日干支
2	4	甲寅	庚申
3	6	乙卯	戊子
4	5	丙辰	己未
5	6	丁巳	己丑
6	6	戊午	庚申
7	8	己未	庚寅
8	8	庚申	辛酉
9	8	辛酉	壬辰
10	9	壬戌	壬戌
11	8	癸亥	癸巳
12	8	甲子	癸亥
1(昭59)	6	乙丑	甲午

昭和57年(1982) 壬戌			
月	節入日	節月干支	1日干支
2	4	壬寅	乙卯
3	6	癸卯	癸未
4	5	甲辰	甲寅
5	6	乙巳	甲申
6	6	丙午	乙卯
7	7	丁未	乙酉
8	8	戊申	丙辰
9	8	己酉	丁亥
10	9	庚戌	丁巳
11	8	辛亥	戊子
12	7	壬子	戊午
1(昭58)	6	癸丑	己丑

昭和60年(1985) 乙丑			
月	節入日	節月干支	1日干支
2	4	戊寅	辛未
3	6	己卯	己亥
4	5	庚辰	庚午
5	5	辛巳	庚子
6	6	壬午	辛未
7	7	癸未	辛丑
8	7	甲申	壬申
9	8	乙酉	癸卯
10	8	丙戌	癸酉
11	7	丁亥	甲辰
12	7	戊子	甲戌
1(昭61)	5	己丑	乙巳

昭和59年(1984) 甲子			
月	節入日	節月干支	1日干支
2 閏	5	丙寅	乙丑
3	5	丁卯	甲午
4	4	戊辰	乙丑
5	5	己巳	乙未
6	5	庚午	丙寅
7	7	辛未	丙申
8	7	壬申	丁卯
9	7	癸酉	戊戌
10	8	甲戌	戊辰
11	7	乙亥	己亥
12	7	丙子	己巳
1(昭60)	5	丁丑	庚子



- 🔍 平成6年と、平成8年の例題は、二人とも女性です。
 1人は……平成6年(1994)12月18です。
 1人は……平成8年(1996)4月1日です。

平成7年(1995)乙亥			
月	節入日	節月干支	1日干支
2	4	戊寅	癸亥
3	6	己卯	辛卯
4	5	庚辰	壬戌
5	6	辛巳	壬辰
6	6	壬午	癸亥
7	7	癸未	癸巳
8	8	甲申	甲子
9	8	乙酉	乙未
10	9	丙戌	乙丑
11	8	丁亥	丙申
12	7	戊子	丙寅
1(平8)	6	己丑	丁酉

平成6年(1994)甲戌			
月	節入日	節月干支	1日干支
2	4	丙寅	戊午
3	6	丁卯	丙戌
4	5	戊辰	丁巳
5	6	己巳	丁亥
6	6	庚午	戊午
7	7	辛未	戊子
8	8	壬申	己未
9	8	癸酉	庚寅
10	8	甲戌	庚申
11	8	乙亥	辛卯
12	7	丙子	辛酉
1(平7)	6	丁丑	壬辰

平成9年(1997)丁丑			
月	節入日	節月干支	1日干支
2	4	壬寅	甲戌
3	5	癸卯	壬寅
4	5	甲辰	癸酉
5	5	乙巳	癸卯
6	6	丙午	甲戌
7	7	丁未	甲辰
8	7	戊申	乙亥
9	7	己酉	丙午
10	8	庚戌	丙子
11	7	辛亥	丁未
12	7	壬子	丁丑
1(平10)	5	癸丑	戊申

平成8年(1996)丙子			
月	節入日	節月干支	1日干支
2 閏	4	庚寅	戊辰
3	5	辛卯	丁酉
4	4	壬辰	戊辰
5	5	癸巳	戊戌
6	5	甲午	己巳
7	7	乙未	己亥
8	7	丙申	庚午
9	7	丁酉	辛丑
10	8	戊戌	辛未
11	7	己亥	壬寅
12	7	庚子	壬申
1(平9)	5	辛丑	癸卯

下記の参考資料は ⇒ 【初年】 5 4 回目 【大運法②】 05 とおなじです。

参考資料《1》 大運「順行」「逆行」 『大運法②』

大運 ⇒ 「順行」「逆行」の出し方

この表は算数の掛け算と同じです。

性別は、男性を陽と取って、女性を陰と取りました。

2014年の年干は「甲木」ですから、「年干」を「陽」とします。

2015年の年干は「乙木」ですから、「年干」を「陰」とします。

	性別	年干	まわり
A	男（+）	陽	順行
B	男（+）	陰	逆行
C	女（-）	陰	順行
D	女（-）	陽	逆行

A－性別が男（陽）で 年干が陽なら 陽と陽で大運は順行

B－性別が男（陽）で 年干が陰なら 陽と陰で大運は逆行

C－性別が女（陰）で 年干が陰なら 陰と陰で大運は順行

D－性別が女（陰）で 年干が陽なら 陰と陽で大運は逆行

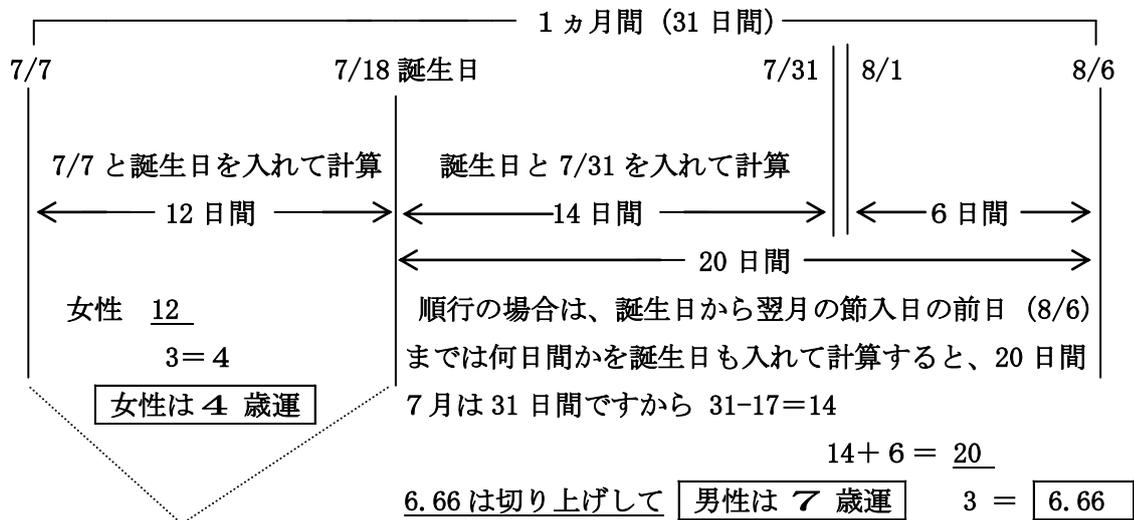
参考資料 《2》 「歳運の出し方」 **横書き** 『大運法②』

歳運（一つの大運は10年単位ですが、その基点となるのを歳運といいます）。

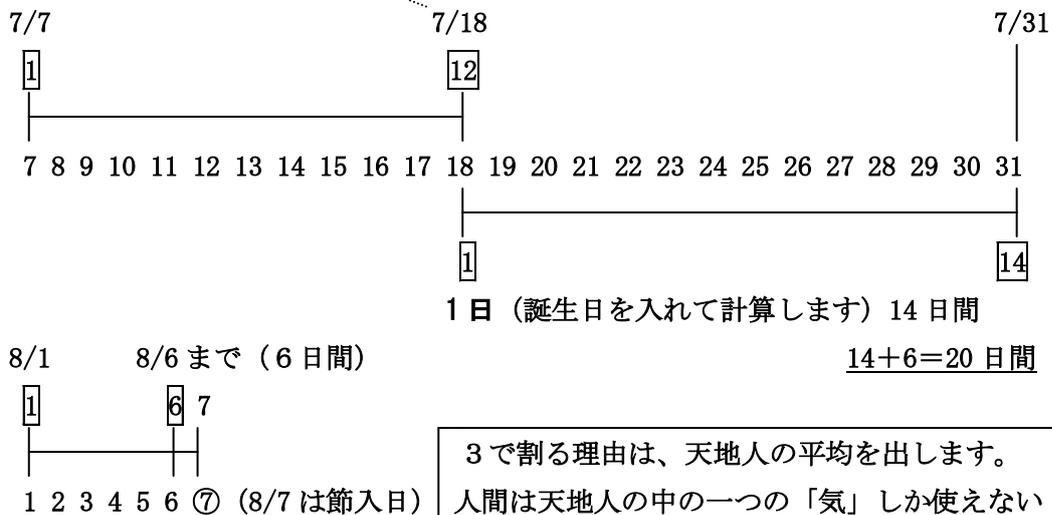
例題 **男性** S59-7-18 癸 辛 甲 **男性** と **女性** として「歳運」を出す。
丑 未 子

そうすると、男性で年干が「甲木」ですから「陽」になります。
7月の節入日は〔7月7日〕ですから、7月7日から翌月の節入日である〔8月7日〕の
前日（8月6日）までが1ヶ月間になります。

(7/7~8/6までは31日間ですが、誕生日の1日を重複計算して32日間になります)



女性



3で割る理由は、天地人の平均を出します。
人間は天地人の中の一つの「気」しか使えない

10 以上は切り捨てます (10 以上の歳運はないのです)

参考資料《3》 「歳運の出し方」 **縦書き**

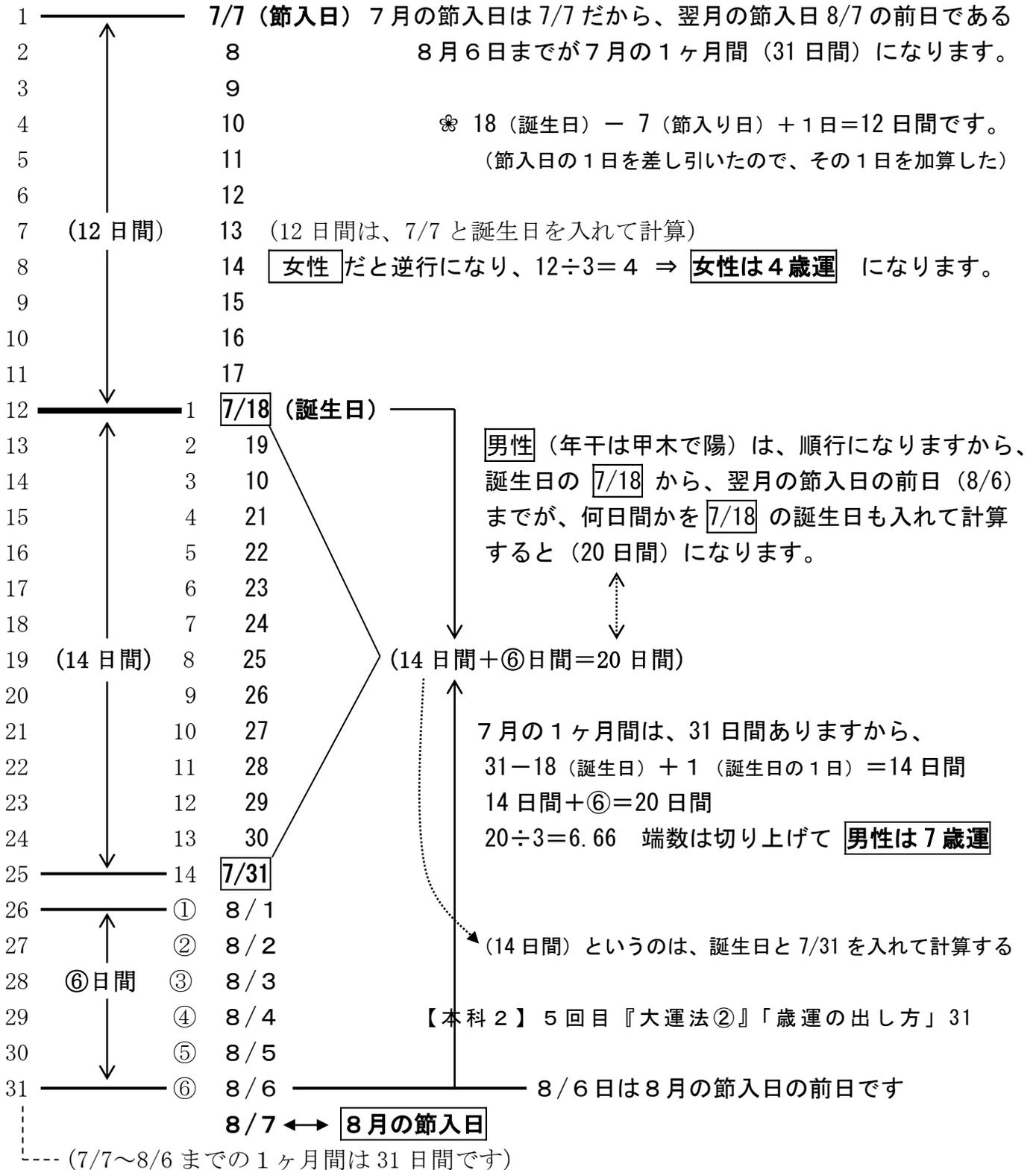
『大運法②』

この例題は、女性も男性も生年月日は同じです

昭和59-7-18
(年干は甲木で陽)

癸 辛 甲
丑 未 子

左記の宿命を女性は(逆行)、男性は(順行)として、表記したものです。

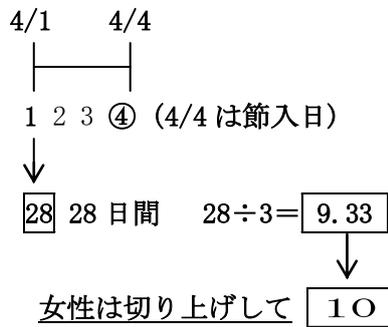
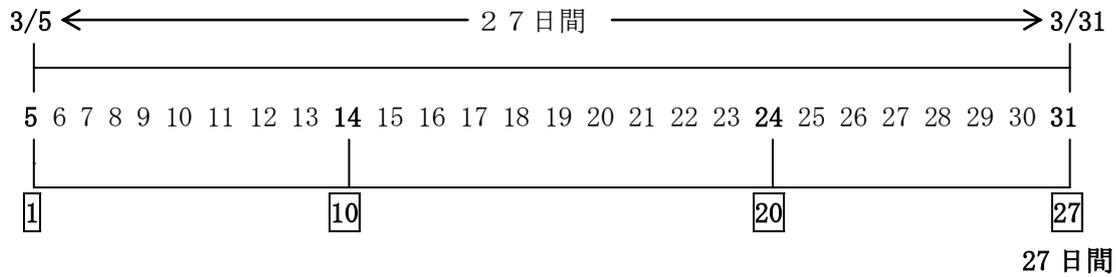


参考資料《4》 「歳運の出し方」

『大運法②』

例題 女性 平成8-4-1 戊 辛 丙
辰 卯 子

この例題は、女性（陰）で、年干支が「丙」（陽）ですから、逆まわりになります。
4月1日生まれですから、4月の節入日を見ると節入日は「4月4日」になっています。
そこで3月の節入日を見ると「3月5日」になっています。
そうすると、3月5日～4月3日（節入日の前日）までが1ヵ月間になります。



3/4 ~ 3/5 までが1日間、だから+1日間
 $31 - 5(3/5) = 26 \text{ 日間} + 1 = 27 \text{ 日間}$
 $27 \text{ 日間} + 1 \text{ 日}(4/1) = 28 \text{ 日間}$

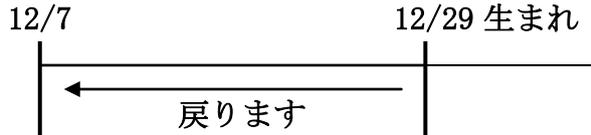
参考資料《5》 「歳運の出し方」

『大運法②』

天皇家 佳子（かこ）様 平成6-12-29

己 丙 甲 女性で逆回り
丑 子 戌

節入日



12月7日は節入日です。
12月27日生まれですから、
誕生日を基点として戻ります。

※ 29-6=23 (この計算は節入日を入れた)

29-7 (節入日) + 1日 = 23 (節入日を引いたので1日を加算する) 23 ÷ 3 = 7.66 8 歳運

※ 順まわりの時、平成7年1月6日は節入日ですから、1月6日を入れてはいけません。
(1月6日の節入日の前日、1月5日までとします)。 1日ずれると、1才ずれます。

大運を出すときに、逆まわりの場合は月干支からさかのぼります。
彼女の場合は、月干支が丙子 (0歳運) になりますから、
8才運は「乙亥」(第1旬) から始まります。

歳運	干支	十干	十二支	十大主	十二大
8	乙亥	○	×	車騎星	天報星
18	甲戌	○	△	牽牛星	天印星
28	癸酉	×	×	禄存星	天貴星
38	壬申	×	×	司禄星	天恍星
48	辛未	×	△	鳳閣星	天南星
58	庚午	×	○	調舒星	天禄星
68	己巳	△	○	貫索星	天将星

参考資料《6》 「歳運の出し方」

節入日計算表

算命中庸学

男性 男（陽）と年干「甲木」（陽）⇒ 順行（順まわり）

例題 ⇒ 昭和59-7-18生まれ 癸 辛 甲
丑 未 子

A

7月の節入日

7月	7/1	7/2	7/3	7/4	7/5	7/6	7/7	7/8	7/9	7/10	
	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	
	7/11	12	13	14	7/15	16	17	18	19	7/20	
	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
	7/21	22	23	24	7/25	26	27	28	29	30	7/31
8月	26	27	28	29	30	31	8/1	8/2	8/4	8/5	
	8/1	8/2	8/3	8/4	8/5	8/6	8/7	8/8	8/9	8/10	
	11	12	13	14	15	16	17	18	19	29	
	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31

- 1 / 31
- 2 / 28
- 2 / 29 閏**
- 3 / 31
- 4 / 30
- 5 / 31
- 6 / 30
- 7 / 31 [7月は31日間]
- 8 / 31
- 9 / 30
- 10 / 31
- 11 / 30
- 12 / 31

[7月は31日間] 8月の節入日

B

男性 順まわり 誕生日も含めて数える **誕生日**

7月	7/1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	11	12	13	14	15	16	17	7/18	19	20	
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
8月	15	16	17	18	19	20	8/6	8/7	8/8	9	10
	8/1	2	3	4	5	8/6	8/7	8/8	9	10	
	11	12	13	14	15	16	17	18	19	29	
	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31

- 1 / 31
- 2 / 28
- 2 / 29 閏**
- 3 / 31
- 4 / 30
- 5 / 31
- 6 / 30
- 7 / 31 [7月は31日間]
- 8 / 31
- 9 / 30
- 10 / 31
- 11 / 30
- 12 / 31

8/1~8/6 まで6日間

20日間

8月の節入日

7/31 日まで14日間

参考資料《7》 「歳運の出し方」

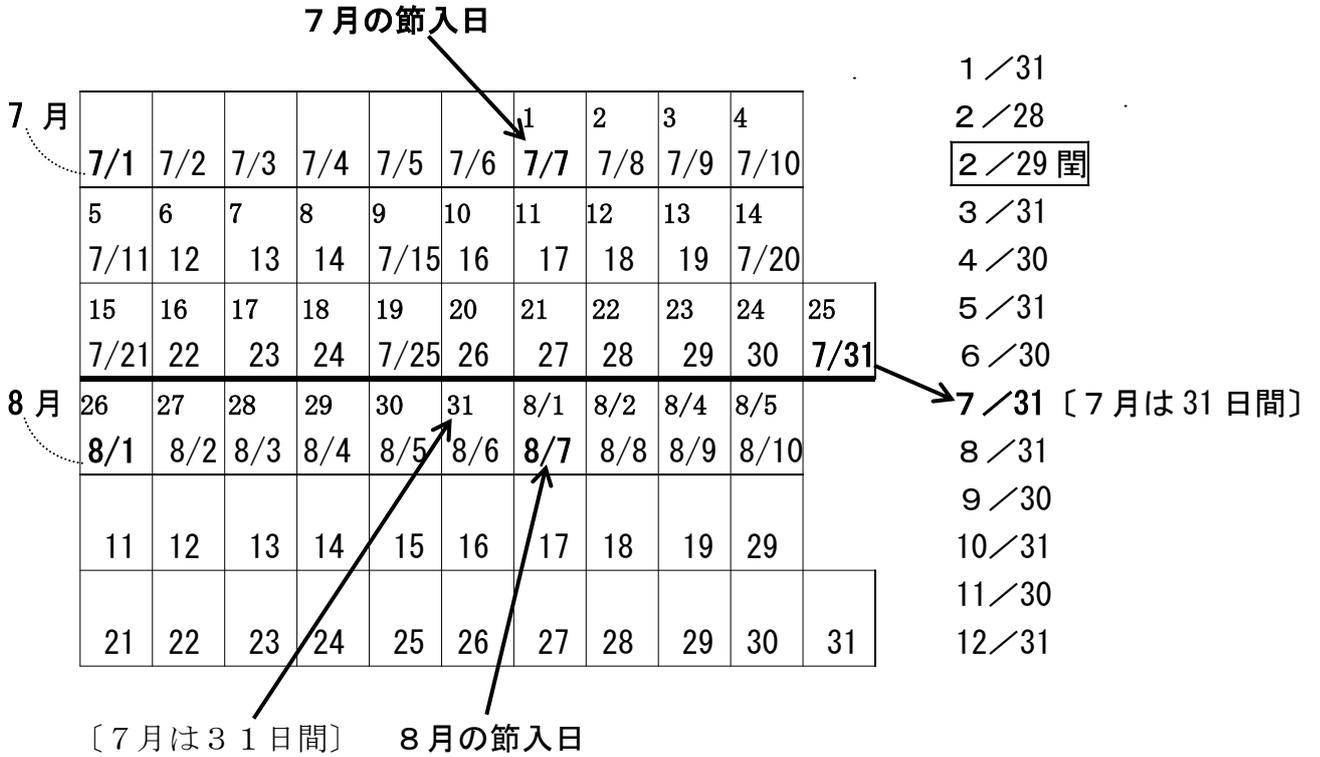
節入日計算表

算命中庸学

女性 女（陰）と年干「甲木」（陽）⇒ 逆行（逆まわり）

例題 ⇒ 昭和59-7-18生まれ 癸 辛 甲
丑 未 子

A



女性 逆まわり 誕生日も含めて数える

C



参考資料《 8 》「歳運」確認表（練習用）は、上下おなじです。

上下の境で半分に切り分けて、別々でお使いになれます。

算命中庸学

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30

- 1 / 31
- 2 / 28
- 2 / 29 閏
- 3 / 31
- 4 / 30
- 5 / 31
- 6 / 30
- 7 / 31
- 8 / 31
- 9 / 30
- 10 / 31
- 11 / 30
- 12 / 31

算命中庸学

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30

- 1 / 31
- 2 / 28
- 2 / 29 閏
- 3 / 31
- 4 / 30
- 5 / 31
- 6 / 30
- 7 / 31
- 8 / 31
- 9 / 30
- 10 / 31
- 11 / 30
- 12 / 31

📎 歳運の出し方

参考資料《2》と《3》には、(昭和59年7月18日)生まれの **男性** と **女性** の「順行」と「逆行」の出し方が書かれています。

先ず始めに、大運が「順まわり」なのか「逆まわり」のかを、だす必要があります。

- ・ 順行は誕生日から順行して数えます。
- ・ 逆行は誕生日からもどります。

ゆえに、歳運の出し方は、順行と逆行では異なります。

① 歳運の出し方は、順行と逆行では異なりますから、大運が順行しているのか……逆行しているのかをだします。

[11頁の干支暦で、昭和59年を見て頂きたいのです]

そこで、22ページに、(11ページとおなじ)干支歴を記載しましたので見て下さい。➡

『干支暦』 昭和59年（1984）「甲子」です。

例題の男性と女性の生年月日は〔昭和59年7月18〕です。

それゆえに、干支歴が必要なので下記しました。

昭和58年（1983）癸亥			
月	節入日	節月干支	1日干支
2	4	甲寅	庚申
3	6	乙卯	戊子
4	5	丙辰	己未
5	6	丁巳	己丑
6	6	戊午	庚申
7	8	己未	庚寅
8	8	庚申	辛酉
9	8	辛酉	壬辰
10	9	壬戌	壬戌
11	8	癸亥	癸巳
12	8	甲子	癸亥
1(昭59)	6	乙丑	甲午

昭和57年（1982）壬戌			
月	節入日	節月干支	1日干支
2	4	壬寅	乙卯
3	6	癸卯	癸未
4	5	甲辰	甲寅
5	6	乙巳	甲申
6	6	丙午	乙卯
7	7	丁未	乙酉
8	8	戊申	丙辰
9	8	己酉	丁亥
10	9	庚戌	丁巳
11	8	辛亥	戊子
12	7	壬子	戊午
1(昭58)	6	癸丑	己丑

昭和60年（1985）乙丑			
月	節入日	節月干支	1日干支
2	4	戊寅	辛未
3	6	己卯	己亥
4	5	庚辰	庚午
5	5	辛巳	庚子
6	6	壬午	辛未
7	7	癸未	辛丑
8	7	甲申	壬申
9	8	乙酉	癸卯
10	8	丙戌	癸酉
11	7	丁亥	甲辰
12	7	戊子	甲戌
1(昭61)	5	己丑	乙巳

昭和59年（1984）甲子			
月	節入日	節月干支	1日干支
2 閏	5	丙寅	乙丑
3	5	丁卯	甲午
4	4	戊辰	乙丑
5	5	己巳	乙未
6	5	庚午	丙寅
7	7	辛未	丙申
8	7	壬申	丁卯
9	7	癸酉	戊戌
10	8	甲戌	戊辰
11	7	乙亥	己亥
12	7	丙子	己巳
1(昭60)	5	丁丑	庚子

② 干支暦で、昭和 59 年（1984）の年干支が何かを調べます。

昭和 59 年（1984）の年干支は何でしょうか？

ねんかんし
年干支は「甲子（こうぼくのねすい）」ですから、ねんかん 年干は「甲木（こうぼく）」で
（陽）になります。甲木は（^{ようかん}陽干）です。

③ 性別は男（陽）です。

年干が甲木（陽）ですから、陽と陽で^{じゅんこう}順行です。

性別は男（+）で、年干（陽）ですから、順行の A に相当します。

陽と陽で「順まわり」になります。この人は順行です。

05 頁または 13 頁⇒ 参考資料《1》大運「順行」「逆行」で確認してください。

④ 干支暦で〔昭和 59 年〕7 月の節入日を調べます。

昭和 59 年 7 月の節入日は何日でしょうか？

節入日は（7 月 7 日）ですね。

⑤ おなじく、8 月の節入日を調べます。

8 月の節入日は、どうなっていますか？

8 月の節入日は（8 月 7 日）ですね。

そうしますと、7 月の 1 ヶ月間というのは、7 月 7 日の節入日から（節入日を入れて）数えますと…… 8 月 7 日の 1 日前である 8 月 6 日までが 1 ヶ月間ということになります。

7 月 7 日の節入日から数えて、8 月 7 日の節入日の 1 日前、
8 月 6 日までが 1 ヶ月間になる。

よろしいですね……。

参考資料《6》「歳運の出し方」**節入日計算表** ㊤表を見るとわかります。

⇒ 7月7日の節入日から、翌月8月の節入日（8月7日）の前日に当たる8月6日までが、何日間あるかを確認するには、**節入日計算表** をつかうと簡単にわかります。

7月7日の節入日から数えて、翌月8月の節入日（8 / 7）の前日に当たる（8 / 6）までが〔1ヶ月間〕です。

7月〔1ヶ月間〕の日数は**31日間**です。

節入日計算表 の **㊤** 表で確認できたと思います。

〔昭和59年7月18日〕生まれの男性は順行です。

順行の場合は、誕生日から数えて（誕生日も入れて数えますよ）、翌月、8月の節入日の前日、8月6日まで何日間あるかを計算します。

順行の場合は、この男性の誕生日（18日）も入れて数えて、7月18日から翌月の8月6日まで何日間あるかを計算するわけです。※（7月18日の誕生日の日も入れてください。）

計算方法 ⇒ 7月は31日間あります。

$$31 - 17 \text{（誕生日を含まないと17）} = 14 \text{日間}$$

$$14 + 6 \text{（8/1～8/6）} = 20 \text{日間}$$

そうしますと、7月の1ヶ月間は31日ありますから、31日から誕生日の18日（誕生日含むと18）までの日数を引きます。

31日 - 18日 = 13日間です。(この計算では、誕生日の1日を
引き算しています)。

ですから、13日間に、誕生日の1日を加算しなければいけません。
計算は、31 - 18 + 1日 = 14日間です。

この14日間に、8月1日～8月6日までの6日間を加算しま
す。(8/1から、8月の節入り日8/7の前日8/6日までは6日間です)

そうしますと、14 + 6 = 20で、20日間になります。

この20日間に3で割ってください。

$20 \div 3 = 6.66$ となりますが、端数が出た場合は、
小数点以下を切り上げてください。

端数を切り上げると7です。この男性は7歳運になります。

いま、ご説明しました〔昭和59年7月18日生まれの男性〕、
そして、〔昭和59年7月18日生まれの女性〕については、
参考資料《2》横書き と 参考資料《3》縦書き に描かれて
いますので、ご理解いただけたらと思います。

また、節入り日計算表 の A と B の男性順行を活用してK
ください。正誤がわかります。

書き方は A と B を参考にしてください。

大運の歳運の出し方を間違えると、正しく運勢を観ることは、
できなくなります。面倒でもよろしくお願いします。

そうしますと、ここでの例題〔昭和59年7月18日〕の場合、
男性で順回りですから、誕生日の日から数えて、つぎの節入り日

の前の日までが、何日間かを探し出して、その数字を3で割ります。

3で割って出た数字に、端数が付いている場合、小数点以下はすべて切り上げてください。

☞ ではなぜ……3で割るかという理由としては「天地人」の平均を出すためという考え方があります。

あるいは、人間は「天地人」のうちの、1つの気しか、つかうことができない。という考え方もあります。

それゆえに、3で割るのです。

また、小数点以下は切り上げますが、10以上の数字になった場合、(31日以上がある場合は10以上になります) その場合には切り捨ててください。

※10以上の歳運はありません。最高で10歳までです。

〔昭和59年7月18日〕生まれ男性は〔7歳運〕です。

7歳そして17歳、27歳、37歳と、10ずつ足してください。

つまり、17歳・27歳・37歳・47歳・57歳・67歳というようになります。

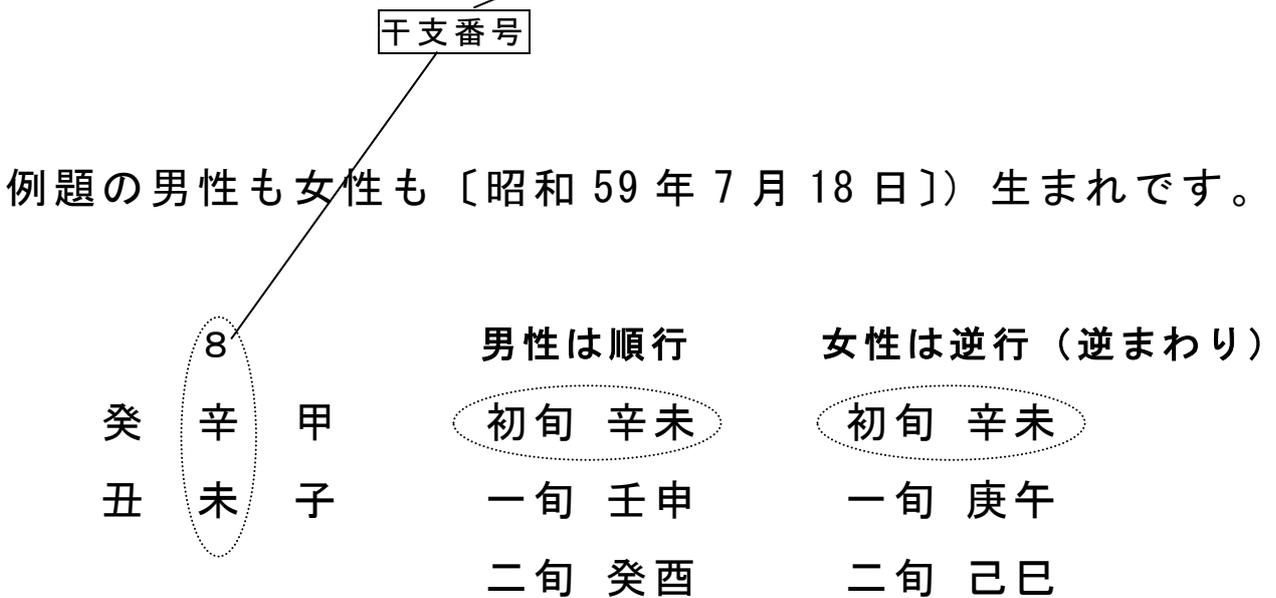
通常は、70代～80代まで出せば良いと思います。

🔍 08頁には、チャゲ&アスカ、覚醒剤で逮捕されたアスカの陰占・陽占・歳運・大運干支、を記載してあります。

🔍 09 頁には、〔オバマ米国大統領〕と〔安部晋三総理大臣〕の陰占・陽占・歳運・大運干支、を記載しましたので、ご参照ください。

⇒ 歳運は宿命の「月干支」を基点にして始まりますが、そのときに、順行なのか、逆行なのか、ということが影響します。それは「六十干支表」を見ればわかりますよ。

この男性も女性も、月干支「辛未 8」が初旬になります。



初旬はわかっていますから、歳運には書きません。
 どなたの宿命でも、必ず「月干支」が初旬になります。
 ここでは「辛未」が初旬です。

なぜ「月干支」なのかという理論があるのですが、いずれ詳しく勉強するようになります。

六十干支表

壬	子	49	庚	子	37	戊	子	25	丙	子	13	甲	子	1
癸	丑	50	辛	丑	38	己	丑	26	丁	丑	14	乙	丑	2
甲	寅	51	壬	寅	39	庚	寅	27	戊	寅	15	丙	寅	3
乙	卯	52	癸	卯	40	辛	卯	28	己	卯	16	丁	卯	4
丙	辰	53	甲	辰	41	壬	辰	29	庚	辰	17	戊	辰	5
丁	巳	54	乙	巳	42	癸	巳	30	辛	巳	18	己	巳	6
戊	午	55	丙	午	43	甲	午	31	壬	午	19	庚	午	7
己	未	56	丁	未	44	乙	未	32	癸	未	20	辛	未	8
庚	申	57	戊	申	45	丙	申	33	甲	申	21	壬	申	9
辛	酉	58	己	酉	46	丁	酉	34	乙	酉	22	癸	酉	10
壬	戌	59	庚	戌	47	戊	戌	35	丙	戌	23	甲	戌	11
癸	亥	60	辛	亥	48	己	亥	36	丁	亥	24	乙	亥	12
水 行			金 行			土 行			火 行			木 行		

逆行 ↑
順行 ↓

干支番号

この男性は「順行」で7歳運です。六十干支表を見ますと、

- 1 旬 7歳の大運は「壬申 7」になります。
- 2 旬 17歳の大運は「癸酉 17」になります。
- 3 旬 27歳の大運は「甲戌 27」になります。
- 4 旬 37歳の大運は「乙亥 37」になります。
- 5 旬 47歳の大運は「丙子 47」になります。

順まわりは「十二支の順番どおり」に申酉戌とまわります。

逆まわりは「十二支の順番の逆」に午巳辰卯とまわります。

* **男性** 昭和 59 年 (1984) 7 月 18 日 **7 歳運・順行**

	癸	辛	甲		鳳閣	天庫	初旬	0	辛未
寅	丑	未	子	玉堂	貫索	貫索	1 旬	7	壬申
卯	戊	丁	癸	天将	車騎	天南	2 旬	17	癸酉
	庚	乙	辛				3 旬	27	甲戌
	丙	己	乙				4 旬	37	乙亥
							5 旬	47	丙子

* **女性** 昭和 59 年 (1984) 7 月 18 日 **4 歳運・逆行**

	癸	辛	甲		鳳閣	天庫	初旬	0	辛未
寅	丑	未	子	玉堂	貫索	貫索	1 旬	4	甲午
卯	戊	丁	癸	天将	車騎	天南	2 旬	14	己巳
	庚	乙	辛				3 旬	24	戊辰
	丙	己	乙				4 旬	34	丁卯
							5 旬	44	丙寅

干支番号

8
癸 辛 甲
丑 未 子

男性は順行

初旬 辛未
一旬 壬申
二旬 癸酉

女性は逆行 (逆まわり)

初旬 辛未
一旬 庚午
二旬 己巳

☞ つぎは……逆行（逆まわり）の場合です。

逆行の場合も、おなじように考え方を^あ当て^は嵌めていきますが、逆回りは誕生日から『戻る』ということです。

大運が「逆回り」の説明をします。

参考資料《6》の **A** と参考資料《7》の **A** は、おなじ表です。2枚を比べるとわかります。男女の違いだけです。

A は、私たちが日常使っているカレンダー（7/1～7/31）の一ヶ月と、（8/1～8/31）の1ヶ月に、7月と8月の節入日を書き加えたわけです。

干支暦では（7/7）が、7月1日に当たります。

干支暦では（8/7）が、8月1日に当たります。

このことをご理解いただくために、男性と女性のそれぞれに **A** を添付したのです。

そこでおなじ例題を、男性ではなくて、女性とした場合には、女性は（陰）で、年干の「甲木」は（陽）になります。

そうしますと、大運は「逆行」します。

おなじ例題でも、女性の場合は逆回りになるのです。

男女ともに、おなじ生年月日〔昭和 59-7-18〕生まれですが、女性は「逆行」になります。

参考資料《2》と《3》の女性の箇所を見ていただければ良いですし、**節入日計算表** の **C** を見ていただいても結構です。

ここでは **節入日計算表** の **C** を見てください。

女性は大運が逆回りになります。

そうしますと、女性の誕生日の7月18日から、7月の節入日である、7月7日まで戻ってもらうことになります。

☞ 18 (誕生日) $- 6$ (節入日の前日まで) $= 12$ 日間

計算方法は：

18 (誕生日) $- 7$ (節入日) $+ 1$ 日 $= 12$ 日間です。

その12日間を3で割ります。 $12 \div 3 = 4$ **女性は4歳運** です。

3で割った数字4に10ずつ加算してください。

ただし、大運は逆行ですから、逆まわりですよ。

この場合も、月干支が基準で、初旬は「辛未8」です。

この女性は、逆行で4歳運です。

命式の月干支が基準でありますから、初旬は月干支の「辛未8」になります。

🔍 「六十干支表」を見てください。

六十干支表を見ますと、月干支「辛未」が基準であり、そこが初旬になります。

基準の「辛未8」が初旬です。

その「辛未」初旬として、そこから、逆回りになりますから、

1旬の4歳運が「庚午7」、2旬の14歳運が「己巳6」、

3旬の24歳運が「戊辰5」になります。

このように、大運が逆回りになるわけです。

そして（切り上げる）（切り捨てる）ということについても、理由があります。それは、太陽と地球の関係です。

この例題の人は〔昭和 59 年 7 月 18 日〕に生まれました。

それは太陽と地球の関係の話であり、生まれたときから、1歳の誕生日になると、生まれたときの太陽と地球との位置関係がおなじ所に来た。という意味が含まれています。

太陽と地球の位置関係が、誕生した所とおなじ場所に来たときが、1歳の誕生日ということになります。

そして、5歳の誕生日であり、60歳の誕生日ということです。

そうしますと、端数が出てきた場合は、どういうことなのかといえは〔途中〕だということになっています。

「地球と太陽の位置関係が途中にある」ということを意味しています。

地球が太陽のまわりを1周したら1年です。

端数が出た場合は、地球と太陽の位置関係が途中にあると考えたわけです。

それで、おなじ位置に来たときは、運勢は切り替わりますが、端数のときは切り替われないとしたわけです。

そういうときには、運勢は「切り替われない」と考えました。つまり、おなじ位置関係に来たときに「運勢は切り替わる」として、端数を切り上げたのです。

皆様の誕生日というのは、その人物が太陽のまわりを、地球が何周したのか……それを表しているのです。

ご説明しましたように、ちょうど何周したというときに、基準を設定したということになります。

◆ 一番初めの大運のところは「第一旬 だいいちじゅん」という言葉をつかっています。

つぎの〔17 歳〕は「第二旬 だいにじゅん」「第三旬 だいにじゅん」「第四 4 旬 だいにじゅん」と続きます。

そして、月干支は「辛未」で、それが初旬ですといいましたが、歳運は初旬のつぎ「一旬 いちじゅん」から書きだします。

男性は順行

月干支「辛未」が基準

0 初旬

7 壬申 — 第 1 旬

17 癸酉 — 第 2 旬

27 甲戌 — 第 3 旬

37 乙亥 — 第 4 旬

女性は逆行

月干支「辛未」が基準

0 初旬

4 庚午 — 第 1 旬

14 己巳 — 第 2 旬

24 戊辰 — 第 3 旬

34 丁卯 — 第 4 旬

初旬は「月干支」から始まりますが、大運は第一旬の「壬申」7 歳運から始まります。

そうしますと、大運は〔七歳〕まで始まらないのか……ということになってしまいますが、そうではなくて「0 歳運」と呼称ぜろさいうんしています。これは初旬のことです。

0 歳運は「月干支」そのものですから「辛未」になります。

ここでは「辛未」が0才運です。

書いても構いませんが、おなじなので書く必要はないと考えているのです。

この0歳運のところを「初旬」といつているわけです。

「初旬^{しよじゆん}」ところ、つまり「0歳運^{ぜろさいうん}」は、大運が切り替わっていない……つまり親の影響下にあるものとしています。

初旬は親の影響が非常に強い所でありますから、運勢は動かないとしています。

それゆえに、男であっても、女であっても、初旬のところは、運勢上で変わらないのです。

また、初旬のところは「男女の区別は無い」もいえます。

「初旬」は、親の影響が非常に強い所なので、運勢は動かない。

男でも女でも、初旬のところは、運勢上変わらない。

初旬のところは、男女の区別がない。

そして、順行・逆行というのは、宿命のなかに、男と女の要素を取り入れないと、観ることはできないと考えています。

しかし「初旬」には男と女の差が無いと考えているわけです。

それゆえに、子供が「初旬」年齢のときに……親が「あなたは男の子だから、もっとしっかりしなさい」、あるいは「女の子だから、おしとやかにしなさい」と、いったところで、なにも始まらないということです。

そのように考えています。

季節は春なので、草木には新芽がでてきます。

ところが、大切な芽吹きの際に、発芽した芽を庚金（刃物）で切ってしまうという状況になれば、樹木は育たないことになります。

＊ 女性 平成8年4月1日生まれ [10歳運]

戊 辛 丙	一旬 10 庚寅
辰 卯 子	二旬 20 己丑
乙	三旬 30 戊子
癸	四旬 40 丁亥
戊 乙 癸	五旬 50 丙戌

宿命の読み方はいろいろできますが、大運ということでは、例題の女性は、大運の第一旬に「庚金」が出ています。

卯月の芽吹きの際に、せっかく出てきた新芽が庚金で切られてしまうことになりますね。

そうしますと……、

運勢の話として、この女性は「若年期（10歳から）は、厳しい人生を歩みます」という話にもなるわけです。

☞ もう1人の女性の例題で「陰占（運勢）」を考えます。

天皇家 佳子（かこ）様 1994（平成6）-12-29

己 丙 甲
丑 子 戌

命式は声をだして読んでください。

甲戌（こうぼくのいぬど）

丙子（へいかのねすい）

己丑（きどのうしど）

陰占の見方ですが、月支（子月）は、季節で真冬をあらわしています。

そうしますと、真冬の己土（大地・畑）にとって、「何が有り難いのか」と考えたときに、1番困るのは雪（水性）が降ってきて、凍結すること、凍りつくことです。

そこで、畑を凍りつかせないためには、自然界で何が必要かと考えます。太陽の恵みが1番ありがたいですね。

このように大まかに五行で考えます。

そうしますと、宿命の月干に「丙火」があります。

丙火は太陽ですから、火性があれば畑は凍りつきません。

火性があれば、本人「己土」の運勢を良くします。

それでは、水性はどうなのかといえ、水性はありがたい火性を（水→×火）と剋くします。

また、子月（真冬）に水性があると、ますます凍りつくことになりますから、水性は運勢を悪くします。

参考資料《5》「歳運の出し方」下段の表には **8歳運** なので〔8歳～68歳〕までの歳運干支が書いてあります。

第一句は「乙亥」です。第二句は「甲戌」です。

「十干」（十二支）そして「十大主星」『十二大従星』が記載してあります。

そこで「十干」を五行に直しますと、

乙木・甲木は木性です。

癸水・壬水は水性です。

辛金・庚金は金性です。

己土は土性です。

これらの五行に先ほどの「有り難い」「有り難くない」という考え方を当てはめて、○ × △ を記入していきます。

（十二支）も五行に直しますと……、

（8歳の亥水は×）

（28歳の癸水は×）

（38歳の壬水は×）

（58歳の午火は○）

（68歳の巳火は○）です。

そして、五行には『相生』の話があるわけですね。

火性を助けるのは（木→火）と木性になります。

「8歳の乙木は○」「18歳の甲木は○」です。

水性を助けるのは、金性ですから運勢を悪くします。

（28歳の酉金は×）（38歳の申金は×）

（48歳の辛金は×）（58歳の庚金は×）です。

さて、つぎに土性ですが……、

年支の土性（戊土^{いぬど}）は、彼女の宿命にとって、良くも悪くもないのですが……宿命に水性が多くて、水性のチカラが強い場合には、土性が水性を（土→×水）と押さええてくれるという意味で、土性は有り難い部類に入ります

しかし、彼女の宿命を見ると土性が3つあります。

本人「己土」、日支（丑土）、年支（戌土）、宿命のなかに干支は合計で6つしかでてきません。

そのなかの3つが土性ですから、宿命の半分を占めています。どのような場合でも、おなじ五行が3つ以上あるのは多過ぎると考えます。土性が多すぎます。

そうしますと、土性は余り良くないのは〔18歳～28歳までの大運〕〔48歳～58歳までの大運〕〔68歳～78歳の大運〕となります。これらの大運は△にしておきます。

これらの考え方としては、通常 of 自然のなかで、己土（畑）というのは、何に価値があるかということ、作物を収穫することにあります。それには、作物が育たないといけないので、そこで火性が良いとしたのです。火性は有り難いとしたわけです。

このように表にして、ザッと観ますと、運勢のどこが良くて、どこが悪いと、ということがおおまかにわかるわけです。

誰でも全てが○ということはまずないのです。

彼女の大運で運勢を大雑把に観ると、18 歳の大運までの運勢はまあ良いです。

ところが、28 歳に入ると途端に悪くなります。

58 歳、68 歳になると持ち直してきます。

地支よりも……天干に良いものがまわって来てくれたほうが、よりありがたいのです。より良いのです。

このように観ていきますと、人生の最初が良くて、中頃はとても運勢が悪くて、後半になると持ち直してくる。という流れが大まかに読めます。

この場合は、28 歳から 30 年間は、運勢が良くないと読めますが、特に悪いのが〔28～47 歳〕までの 20 年間の大運です。

このように考えるわけです。

以前、授業で三柱法・さんちゅうほう四柱法よんちゅうほうについて話しましたが、三柱法は宿命を観るわけです。

宿命の三柱に、大運を加えた四柱法というのは、大まかに観てゆくわけです。

四柱法に年運を加えて観てゆくのを、五柱法といいます。

私たちが一般に占うときに観るのは五柱法です。

三柱法 ⇒ 宿命をみます〔1番大切です〕

四柱法 ⇒ 宿命と大運をみます〔運勢を大まかに観ます〕

五柱法 ⇒ 宿命、大運、年運を観ます。

一般に運勢を観るのに用いるのは五柱法です。

08頁にはチャゲ&アスカ、覚醒剤で逮捕されたアスカの宿命が書いてあります。

そこに五柱法をだしますとして、五柱法の記載がありますが、彼の運勢の頂点のときです。

〔たとえば〕 この大運が危ない……何が危ないかはさまざまですが、もし、そのなか財運が危ないとわかれば、そこで年運を観ていくわけです。「ここは駄目な^{とし}年かな……とか」です。死ぬこともそうですが……死ぬというのもさまざまな死に方があります。寿命が来ての死に方もあります。

そして、財運もあるし、結婚運とかもあるわけですが、ここが危ないとわかったら、そのなかで「年運」を観て、深く突き詰めるのが五柱法です。一般に運勢は五柱法で観るのです。

しかし、1番大切なのは何かといえば「宿命」そのものです。宿命を観ることができないと語れないわけです。

大運がまわって来ても、どれが良いのか、悪いのかというのは、その宿命にとって、良いのか、悪いのかということです。

宿命という中心があって、そこへまわって来た大運が良いのか、悪いのかということですから、宿命を分析できないと大運を観ることはできないわけです。

占うときは、大運を「十大主星」と『十二大従星』の星に直して観ていきます。陰占を陽占（人体図）に直して観てきます。そうすると、どのように良いのか、どのように悪いのか……わかります。

佳子様〔8歳の大運〕のところは「乙亥」で、干は乙木です。これは日干「己土」から見るのです。

「十大主星表」を参照しながらで結構です。全部見てください。日干「己土」から、〔8歳〕からの大運「乙木」を見ると、星は車騎星になります。

〔8歳～18歳〕までは、大運で車騎星がまわっています。

〔18歳〕からの大運は「甲木」です。

日干「己土」から、大運の「甲木」を見ると牽牛星です。

〔28歳〕からの大運は「癸水」です。

日干「己土」から「癸水」をみると禄存星になります。

このようにして、十大主星を書いていきます。

『十二大従星』は、日干の「己土」から（亥水）を見てください、天報星になります。十二大従星も出していきます。

* 佳子内親王 1994(h8)-12-29

	己	丙	甲		牽牛星	天恍星	8 乙亥
午	丑	子	戌	貫索星	石門星	石門星	18 甲戌
未	癸		辛	天庫星	玉堂星	天馳星	28 癸酉
	辛		丁				38 壬申
	己	癸	戊				48 辛未
							58 庚午

佳子様の日干は「己土」です。

「十大主星表」をつかってください。

『十二大従星表』をつかってください。

「十大主星表」⇒ 日干から「乙木」「甲木」を見ます。

8歳は乙木〔車騎星〕

18歳は甲木〔牽牛星〕

『十二大従星表』⇒ 日干から（亥水）（戌土）を見ます。

8歳は亥水〔天報星〕

18歳は戌土〔天印星〕

〔18歳〕からの大運は、十大主星は〔牽牛星〕です。

十二大従星は〔天印星〕です。

そうしますと、牽牛星は人物で（正夫）になります。

（正夫）は（偏夫）ではない（正しい夫）という意味です。

〔18 歳〕は年齢的にも結婚適齢期に入ります。その 10 年間の
大運に〔牽牛星〕がまわって来ているということは、この^{あた}辺り
で結婚するのでは……と想定はできます。

ただし、実際に結婚するかどうか……わかりませんよ。

〔夫の星が 10 年間まわっていますよ〕ということです。

もし〔18 歳〕の大運で結婚しますと、牽牛星と天印星が一生
彼女についてまわります。

牽牛星は真面目な星、天印星は養子の星です。

養子という意味では、自分の家系から出て行くわけですから、
天皇家を継がないことになります。

佳子様は天印星をもっていますから、養子的といえるのです。
養子に行くということは、天皇家と関係のない所に嫁ぐという
ことになります。

これは結婚するのに天皇家の風習を持って行けない所へ、嫁ぐ
ということです。貴族ではない家系です。

普通の人の場合でいえば……とても貧しい家から、裕福なお金
持ちの所へ嫁ぐとかです。その反対も含まれます。

あるいは、北海道で生まれたのに、東京や沖縄の人と結婚する
とかもいえます。

〔28 歳〕で結婚するのなら、〔天貴星〕がまわっていますか
ら、天皇家と関係ある人と結婚するということにもなります。

〔28 歳〕からの大運は〔禄存星・司禄星〕がまわって来ます。通常は〔禄存星・司禄星〕がまわると「財の星」ですから、「お金儲けができる……」とかの想いも湧いて来るでしょう。しかし、そのようには観ません。

運勢の話と、陽占〔十大主星〕の話は別なのです。

それゆえに、財の大運がまわって来たとしても「この 20 年間は財に縁がありますね」としかいえないのです。

「財に縁がありますね……」そのことで〔儲かるのか〕〔損をするか〕について問^とい^か掛けていません。それが陽占です。
(借金も財のうちですよ)

そして、陰占を観ますと、〔28 歳〕から「癸酉 (きすいのとりきん)」がまわっています。

子月 (真冬) 生まれの己土 (畑) にとって、畑が凍ってしまうかもしれません。つまり“悪い”と書いてあります。端的に言えば“お金で苦しむ”と読めるわけです。

そうしますと「その結婚はどのような結婚なのか……？」ということなのです。

〔お金が儲かっても財の話〕〔お金を失っても財の話〕ですから「財に集約される 20 年間」ということにもなります。

ということは……天皇家と全く関係のない所に嫁いだとすれば、嫁ぐときに相当お金を持参していきますが、お金で苦労するということも考えられるわけです。

金銭的に不自由のない天皇家とは、あまりにも違う世界に嫁ぐのでは……そのような想定もできるということなのです。

天皇家の財宝はすごいものです。

ゆえに、天皇家は裕福・お金持ちという設定での話ですから、“天皇家は貧しい”という設定にすると違う話になりますよ。

〔48 歳〕の大運は〔鳳閣星・調舒星〕がまわっています。

鳳閣星・調舒星には、子供とか寿命（健康）という意味がありますから、子供で苦勞するとか、あるいは健康面で苦勞するとかの話にもなるのです。

ここが ○ であれば、その面で苦勞をしないと考えられます。年齢的に 40 代となると、子供で苦勞するということも考えられるわけです。

〔58 歳〕からは、わずかに持ち直します。（午の本元は火性）

〔68 歳〕になってかなり良くなりつつあります。

十大主星は貫索星です。貫索星は自分であり、兄弟でもありますから、兄弟と縁が深まると考えれば、皇室と行き来するようになり、生活を持ち直して来るのでは……と読めます。

このようにして、大運で大まかに読むことができます。

〔たとえば〕一般人が高校を卒業して〔18 歳〕で就職・仕事を始めるのであれば、大運で〔牽牛星〕がまわって来ているから、その仕事をやり続けている間は一生懸命仕事をやろうとするわけです。真面目な仕事ぶりになります。

この宿命に〔禄存星〕はないですが、大運で禄存星がまわってきているときに仕事に就けば、たとえ宿命で無愛想な人でも、愛想が良くなるということが起こります。

それゆえに、家庭のなかでは無愛想でも、会社に行くと愛想が良くなることがあるわけです。

会社に行けば、どうしても、仕事上で愛想良くしなくてはいけないという場面が出てくるわけです。

〔司禄星〕の場合であれば、地味で堅実にこつこつと積み上げていくような仕事振り……そのようにも読むこともできるわけです。

【初年】 5 4 回目【大運法②】 終わります

つぎの授業 ⇒ 【初年】 5 5 回目【天中殺論(1)】です。